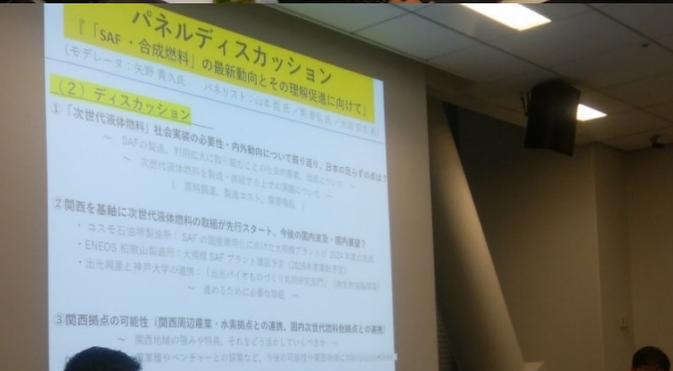


関西次世代燃料 フォーラム NEXT 2024

～「SAF・合成燃料」の最新動向
とその理解促進に向けて～



次世代燃料の今後マーケット展開も念頭に、関係機関・企業の最新動向についてパネルディスカッションを交えて紹介し、内外動向も含めた多角的な情報を発信。社会実装に向けた理解促進を進めます。

イベント概要

日時:3月12日(火)13:30~16:45
形式:ハイブリッド(リアル/オンライン)
会場:ナレッジキャピタルカンファレンスルーム C07
(グランフロント大阪 北館内(タワー C 8F))
主催:近畿経済産業局
協力:国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)/公益社団法人 石油学会/一般財団法人 石油エネルギー技術センター(JPEC)/石油連盟
登壇者:本省、NEDO、コスモ石油株式会社、ENEOS株式会社、出光興産株式会社

イベント結果

イベント終了後、会場参加者の大手企業と管内ベンチャーとのチームから今回イベント登壇者のNEDO、石油元売3社に対して、次世代液体燃料開発にかかるチーム取組(次世代燃料関連CCU技術)について、プレゼン・意見交換希望の申し出があったところ。現在、当該チームとNEDO・元売3社との連携可能性について、意見交換の場を、資源・燃料課において調整中。本イベントをきっかけに新たな共同研究・開発につながる可能性を創出・関係者同士の新たな交流が生まれつつあります。

参加者の声

関西地区で企業されている弊社取引先(ベンチャー企業)とカーボンニュートラルビジネスを模索中。フォーラムに満足した。



関西は、コスモ石油堺製油所において SAF(持続可能な航空燃料) 国産商用化実証大規模プラントが 2024 年度に完成・国内初の運転開始が予定、また、ENEOS 和歌山製造所でも大規模 SAF プラントの建設が見込まれるなど、次世代燃料分野を先導する地域です。(以下、フォーラム発表資料抜粋)

【コスモ石油の取組】



大阪・関西万博開催年に供給予定の国産SAFを起点に、関西エリアの脱炭素化取組/資源循環実現への貢献を目指す

2025年国内初の量産SAF供給開始
(副産物のバイオナフサ/バイオディーゼルの生産・供給も展開予定)

関西エリアへの貢献(シナジー)

- ＜アプローチ＞
 - ◆在関西企業・自治体との資源循環ネットワーク構築
関西エリアの廃食用油から生産した燃料・原料を
関西エリア需要家に供給
 - ◆大阪“みなと”カーボンニュートラルポート (CNP)
関西電力株とのCCSバリューチェーン構築等
- ＜空港との連携事例＞
 - 関西エアポート様との連携
関西エアポート様とSAFの連携事例

【ENEOSの取組】

- 和歌山製造所を石油基地からカーボンニュートラルを先導するGXモデル地区へ
- 和歌山ではSAFの国内安定供給体制を確立すべく、40万KL/年のSAF製造に関する詳細設計を実施中

